

不器用なこどもの

運動発達支援

～支援の実践紹介と実技～

2026 2.7 (土) 13:30-16:30

運動の不器用さは、日常生活全般に影響してしまうこともあり、周囲からの低い評価によって子どもは大きく自信をなくすことがあります。苦手意識がおおきくなると、新しいことにとりくむことへの拒否につながる場合があります。今回の講座では、不器用な子どもの支援に対する最新の知見及び、具体的実践の紹介と運動遊びの実技を体験してもらいたいと思います。

講師紹介



松原 豊

元 筑波大学 体育系教授
こども家族早期発達支援学会
副会長
認定ダンスセラピスト

障害のある子の運動遊び、身体表現、ダンスの指導法を開発。近年は特にインクルーシブ教育・保育の理解と普及に力を入れている。



綿引 清勝

東海大学 児童教育学部
児童教育学科 特任講師
公認心理師・臨床発達心理士
特別支援教育士

幼児期から成人期まで、様々なライフステージに応じた運動やスポーツの指導を行っている。近年は、特に身体的不器用さのある幼児児童生徒の指導方法の研究を行っている。



国立オリンピック記念
青少年総合センター

センター棟 5階503号室



左のQRコードよりお申し込みいただけます

一律 3,300円

申込受付：2025.10.1(水)～